

水稻種子温湯浸漬処理が割れ粳の発芽率に及ぼす影響

福島県農業試験場病理昆虫部
平成17年度試験成績概要

- 1 部門名 水稻－水稻－病虫害防除
分類コード 01-01-06230000
- 2 担当者 山田真孝・皆川博孝・松木伸浩
- 3 要 旨

水稻有機栽培や特別栽培で種子伝染性病害の防除に利用されている温湯浸漬処理が、割れ粳の発芽に及ぼす影響を調査するため、割れ粳と正常粳を60℃10分間温湯浸漬処理した（品種：コシヒカリ）。

(1)温湯浸漬をしない正常粳の発芽率が93%に対し、温湯処理した割れ粳、正常粳の発芽率はそれぞれ60%、89%で、割れ粳の方が発芽率低下の程度が大きかった。

(2)今回供試した種子の場合、割れ粳混入率17%以下であれば、温湯浸漬処理を行なっても正常粳の発芽率の90%程度の発芽率が確保できると試算された。

以上のことから、温湯浸漬処理を行なう場合、発芽低下が懸念されるので、割れ粳混入率が高い種子の使用は問題があると考えられた。

- 4 その他の資料など